

第3回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会 (略称：高校生ロボットSIリーグ) 開催結果について

- 県内外の高校生16チーム（過去最多）が参加。うち県外は7校。
- 最優秀賞（愛知県知事賞）は、愛知県立愛知総合工科高校。
- 2日間の来場者数は、延べ6,030人（前回4,645人）
※12/14(土)は隣接するホールD（第12回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会）の来場者数を含む。

1. 第3回高校生ロボットシステムインテグレーション競技会 概要

【日時・場所】2024年12月14日(土)・15(日) / Aichi Sky Expo 展示ホールC

【主催】高校生ロボットシステムインテグレーション競技会実行委員会（事務局：愛知県）

【競技内容】

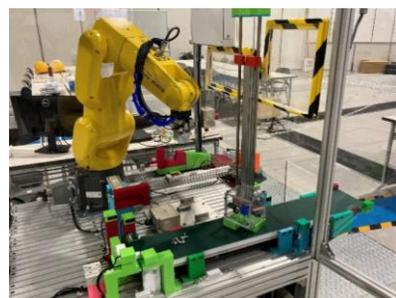
産業用ロボットを使い、定められた競技課題※をクリアするロボットシステムを組み上げ、その出来栄を競う。（※オープン部門は各チームで自由に設定した課題）

【同時開催イベント】

- ① あいちロボフェス
ロボット操縦体験やプログラミングなどのワークショップ、ステージイベント等
- ② World Robot Summit 2025 (WRS2025) プレイイベント
2025年12月に開催するWRS2025のモノづくりロボットチャレンジの競技デモンストレーション。

2. 競技結果

最優秀賞 (愛知県知事賞)	愛知県立 愛知総合工科高校 (ファナック部門)
優秀賞	愛知県立 半田工科高校 (FUJI部門)
	大阪府立 ^{ひがしよど} 東淀工業高校 (三菱電機部門)
	東京都立 ^{くらまえ} 蔵前工科高校 (デンソーウェーブ部門)
	熊本県立 ^{かもと} 鹿本商工高校 (オープン部門)
技術賞	愛知県立 春日井工科高校 (FUJI部門)
アイデア賞	愛知県立 豊橋工科高校 (オープン部門)
オーディエンス賞	愛知県立 半田工科高校 (FUJI部門)



愛知総合工科高校のロボットシステム
(競技課題：ギア部品の組み立て)

3. 来場者数

12/14 (土)	12/15 (日)	合計
3,552人 (2,210人)	2,478人 (2,435人)	6,030人 (4,645人)

括弧内は第2回大会実績

(参考) 競技会の主な特徴

1. ロボットシステムインテグレーションをテーマとした、全国初の高校生の競技会

2. 約8ヶ月かけた実践的な学びを提供

チームは、各種講習会を受講し、ロボットシステムインテグレーションを学ぶとともに、授業や部活動などの時間を活用して、モノづくり現場の自動化を行う実践的な競技課題に取り組む。

3. 産官学が連携した取組

エスアイア-

高校生チームに対しては、ロボットSIer企業がサポーターとなり、ロボットの設置搬送や技術面等の伴走支援を行うほか、競技に用いるロボットは、ロボットメーカー4社（株式会社デンソーウェーブ、ファナック株式会社、株式会社FUJI、三菱電機株式会社）から無償貸与を受ける（オープン部門除く）。



(参考) 第1回・第2回の受賞校

〈第1回〉

参加校数 10校（うち県外1校）

最優秀賞	栃木県立 足利工業高校
優秀賞	愛知県立 愛知総合工科高校
	愛知県立 半田工科高校
特別賞	愛知県立 瀬戸工科高校
特別賞	愛知県立 豊川工科高校

〈第2回〉

参加校数 14校（うち県外5校）

最優秀賞	岐阜県立 岐阜工業高校
優秀賞	愛知県立 愛知総合工科高校
	栃木県立 足利工業高校
技術賞	愛知県立 半田工科高校
新人賞	愛知産業大学工業高校
アイデア賞	愛知県立 豊橋工科高校
オーディエンス賞	愛知県立 半田工科高校

(参考) 会場の様子



高校生によるロボットシステムの実演



企業・大学による体験・展示ブース



プログラミング・ロボット操作体験